

体育祭

第70回体育祭が、9月20日に行われました。

今年は3年D組から出た「やる気、根気、元気」をスローガンに、4ブロックに分かれて熱戦が繰り広げられました。開会式では校長先生からは、「3週間にわたる練習の成果を発揮し、素晴らしい体育祭にしてほしい」との挨拶がありました。その後、生徒会長の高田紅恋君、育友会の潮崎健一会長の挨拶が続き、体育祭実行委員の木村恭君が選手宣誓を行い、競技が始まりました。

綱引きや大縄跳び、対抗リレーのような真剣勝負の種目と共に、借り物競走や運命共同体のような生徒会種目もあわせ、今年は15のプログラムがありました。その中で大きな笑いを誘ったのが、障害物競走でした。特にバットを額に当て10回（少し誤魔化している人もいましたが笑）回ってから走るのは、フラフラして足が定まらずに多くの人が苦労していました。最後に袋に足を入れて飛びながらゴールするのも、大変だったと思います。

応援合戦も見事でした。あるブロックでBGMが予定のものと違うハプニングがありましたが、アドリブでそれを見事に乗り切る場面もありました。ひょっとしてこれで、点数を稼いだかもしれませんね。

例年どおり大きく盛り上がったのは、最後の最強レースです。第1走はハンディをつけて3年担任が走ります。今年は僅差で東芝先生が1位でバトンをつなぎましたが、その後は熱戦が続き、最終的には、赤、白、青、黄の順にゴールしました。

今年は、赤ブロックが競技、応援合戦とも勝利を収め、総合優勝となりました。勝負なので順位がつくのは仕方ありませんが、どのブロックとも全力を出し、最後まで頑張っていたのが印象的でした。

閉会式では校長先生から、「気持ちを切り替えて勉強に励み、続きは文化祭で」という話がありましたが、次の生徒諸君らの活躍を期待しています。



トルコイスタンブール高校生徒来校 姉妹校提携締結

トルコのイスタンブール高校から、ヒキメット・コナル (Hikmet Konor) 校長先生以下15名が、9月15日(金)に本校を訪れました。翌16日のトルコ軍艦「エルトゥールル号」慰霊祭に参加するために串本を訪れたものですが、高校生同士でも交流を深めたいとして、今回の訪問となりました。あわせて本校と姉妹校提携を結ぶことになり、この日に調印式を行いました。本校の姉妹校提携は、アメリカのヘメット高校、カナダのパニア高校に続き、3校目となります。

当日は、地元新聞社だけでなく中央紙の記者の他、NHKなどのテレビ局も取材に訪れました。

調印式が終わってから、トルコの高校生たちは、華道、茶道、弓道の文化体験を行いました。案内は生徒会やCGSが行いましたが、日本とトルコとの間で大いに交流を深めることができました。

串本校舎での日程終了後、案内をしてくれた串古座の生徒たちに、イスタンブール高校の生徒たちが着ていたものと同じトレーナーがプレゼントされました。そこでイスタンブール高校の生徒から「同じ服を着て慰霊祭に行こう」という誘いがあり、有志で翌日、大島を訪れることになりました。 続く



その翌日

慰霊祭の日は荒天になることが多いようですが、今年も雨が降り、公式の慰霊祭は中止となりました。しかし、イスタンブール高校の生徒たちは慰霊碑を訪れて花を手向けることになり、本校からも10名の生徒が参加して、大島に向かいました。

移動中に大島小学校の横を通ったとき、トルコ側から「大島小学校にお土産を持ってきている」という話がありました。大島小学校は慰霊碑の清掃ボランティアを長い間続けており、それに感謝してのことでした。当日は土曜日でしたが、小学校に確認すると、運動会の関係で生徒たちは登校しているとのこと。帰路途中で大島小学校を訪れ、短い時間でしたが、イスタンブール高校、大島小学校、串本古座高校で交流の機会を持ちました。

127年前のエルトゥールル号の遭難をきっかけとして、このような交流の機会を持つことができました。遭難した乗組員たちもきっと、草葉の陰で喜んでいることでしょう。

百周年に向けて

串本古座高校の前身は、串本高校と古座高校ですが、さらにその前身を遡って数えてみると、来年(2018年)は創立百周年となります。関係各所で話し合いが始まり、9月26日(火)の同窓会総会でも、百周年に向けての話がありました。

百年は、大きな節目となります。みんなで共に、祝いたいですね。

